

# 「どうぶつしゃしんてんにようこそ!〜」(10時間扱い)

教材名「うみへのながいたび(教出1年下)」

授業者 澤田 仁志

## 1. 《单元について》

目標:「うみへのながいたび」を読むとともに、いろいろな動物の親子の本について感心を持ち、自分が選んだ本の中に出てくる動物の様子を紹介するために、動物の写真や様子を表す文や言葉から動物の会話を想像し、友達と協力しながら「動物写真展」を創ることができるようにする。

教材文、「うみへのながいたび」は、シロクマの親子の様子がナレーション風に書かれている。また、動きや表情をしっかりと捉えた写真は、子供が想像をひろげることを助けてくれる。写真を見ながら想像したことを交流する活動や、考えた会話を演じてみるなど、多様な言語活動を生み出すことができる教材である。また、( )や「 」でくくられて表記された心の中の言葉や会話を音読する活動なども取り入れることで、シロクマの親子の様子や心情を想像することもできるであろう。様々な言語活動を随所に盛り込むことができる本教材の学びを通して、子供の読む力を育て、表現することへの意欲を高めていきたい。

そこで、本教材とリンクする「学びのゴールとなる学習活動」を「動物写真展を開こう」とする。これは、動物の写真が掲載されている様々な本を読み、書かれている文章と掲載されている写真を対応させながら、写真に会話文や解説文を書き足し、写真展を開く活動である。この学びのゴールとなる活動を支えるのが、「うみへのながいたび」を用いた、

第2次の学習活動(写真展へ向けての試行的な学習)となる。本教材では、

- ①教材文の写真を見て想像したことを話し合う。
- ②写真とかかわる場面の教材文と出会う。
- ③教材文を基に写真の登場人物にどのような会話を付けるか話し合う。

という学びのサイクルを設定する。これは、文章に出会う前に、写真から場面の様子を想像し、その後に文章を基に想像するという学びのサイクルである。このサイクルは繰り返すことは、「様子を表す言葉や写真を基に動物の会話や言葉を想像して解説文を書いて写真展を開く」という学習活動を行う際に、同様のサイクルで学習を進めることができるため、子供が見通しをもち主体的に学習に臨むことができると考える。また、一年生なりの言葉で、話し合ったり聴き合ったりしながら協同的に学びを進めていくことを大切に、資質・能力を育てていきたい。

## 2. 《国語科(読むこと・文学的文章)における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力》

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
第一・二年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉には、事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに注意して読むことができる。</li> <li>○敬体で書かれた文章に慣れている。</li> <li>○平仮名、片仮名、漢字を読むことができる。</li> <li>○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。</li> <li>○昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり、知っていることを発表し合ったりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、見付けることができる。</li> <li>○文章の内容と自分の経験とを関係づけて、自分の思いや考えをまとめたり、友達と考えを発表し合ったり聴き合ったりすることができる。</li> <li>○目的(楽しんだり知識を得たり)に応じて本や文章などの情報を選択して読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本や文章を楽しんだり、想像を広げながら読んでいる。</li> <li>○物語や科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想をもったり、仲間と伝え合ったりしている。</li> <li>○情報から得た知識、そこから得た考えや感想、気に入ったところを進んで伝え合ったり紹介し合ったりしている。</li> </ul>

## 3. 《育成すべき資質・能力を踏まえた単元の評価規準》

個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか) <b>評価1</b>	思考力・判断力・表現力等教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか) <b>評価2</b>	学びに向かう力、人間性等情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか) <b>評価3</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○動物の言葉や会話を想像するときに、様子を表す言葉に気を付けて読むことができる。</li> <li>○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けるとともに、シロクマや動物の様子を想像しながら音読することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○動物写真展を開くために、場面の様子に着目したり、言葉や写真に着目したりしながら、それらを基に、動物の会話を想像しながら読むことができる。</li> <li>○写真展を見る人に様子を伝えるために、想像したどうぶつの会話の中から、場面の様子に合うような会話を選んでいく。</li> <li>○動物写真展を開くために、本や文章、写真などを選択することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「うみへのながいたび」や自分が選んだ本について感想をもったり、仲間と伝え合ったりして自ら進んで学びを進めている。</li> <li>○本を読んで得た知識、そこから得た考えや感想、気に入ったところを進んで伝え合ったり紹介し合ったりしながら協力して動物写真展を創っている。</li> </ul>



5. 《単元構想》

	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
開始期	○ 動物を紹介する本と出会い、感想を交流する。 シマウマが親子で仲良く草を食べているよ。どんなお話してるのかな？ カンガルーの赤ちゃんがお母さんのおなかから顔を出しているよ。びっくりしているみたい。	◇ 読み聞かせに興味をもって臨むとともに、お話の内容や写真を見て思ったことについて、積極的に感想を交流している。 <b>評3</b>
	○ 動物の様子を紹介するよい方法を考え、学習の見通しをもつ。 動物は言葉を話せないから、何を話しているのか考えるのは面白いね。 前にやってみたくて、写真にフキダシをつけたり、みんなで考えたことを壁にはってみんなに見てもらおうの面白いね。	☆ 題材に興味をもつことができるよう、動物の写真と紹介文がわかりやすい本を何冊か読み聞かせしたり、教室に配置したりする。
1・2時間目	○ 単元を通した課題を考え、学びの文脈のイメージをもつ。 <b>動物の写真に、言葉や説明をつけて、1年1組動物写真展を開こう！</b>	☆ 今後の学習に対する見通しがもてるよう、写真と文章が対応していることに着目することを促すとともに、これらの本が動物の行動を基に、動物が考えていることを想像して書かれていることに気付くような言葉がけをする。
	○ 写真展を開くために、どんなことが必要かを考え、教材文「うみへのながいたび」をどのように読んでいくのかの見通しをもつ。 写真展を開くためには、動物がどんな話しているのか、考えなければならないね。どうしたらいいかな？ 「うみへのながいたび」もシロクマさんの写真がたくさんだ。シロクマさんがどんな話しているのか、みんなで考えてみようよ。	☆ 教材文も同じような書かれ方がされていることに気付くことができるような言葉がけをする。
本時	○ はじめの写真を見て、考えたこと、思ったことを話し合う。 シロクマの赤ちゃんが2頭、真っ白でかわいいね。 雪の上には何かほかの動物を見つけたのかもしれないよ。 うんうん。目もまんまるでかわいい。何を食べているのかな？ お母さんはいないのかな？お母さんをさがしているのかな？	◇ 場面の様子や登場人物を押さえながら、思ったことを発表したり、語のまとまりに気を付けて音読したりしている。(単元を通して育む) <b>評1</b>
	○ 1の場面を読み、シロクマの親子は、どんなことを話しているのかを考える。 そうか、はじめて穴の中から出てきたんだね。 はじめて見る物ばかりで、きょろきょろしている写真かもしれないね。 ひろいなあ、まぶしいなあ、って言っているかもしれないね。 雪のことを「この白いの何かかな？」空のことを「この青いの何かかな？」って話しているかも…。	☆ <b>本文と出会う前に写真を提示し、何をしているのか、どんな言葉を話しているのか、全体で交流したり、自由ペアで考えを出し合ったりする活動を設定する。【必要感のある協同的な学び】</b>
展開期	○ 2の場面の写真を見てシロクマの親子は、どんなことを話しているのかを考える。 今日は、お母さんが出てきたよ。 でも、昨日見た写真より、子供たち大きくなってない？ 早く大きくなるんだよ、ってシロクマの兄弟に話しているのかもしれないね。 そうだね。「お母さん、おなかすいたよ〜」ってお願いしているのかもしれないね。	◇ 動物写真展を開くために、各場面の様子に着目したり、言葉や写真に着目したりしながら、それらを基に、動物の会話を想像しながら読んでいる。またそれらを伝え合っている。 <b>評2</b>
	○ 2の場面を読み、シロクマの親子は、どんなことを話しているのかを考える。 お母さんは、子供たちを連れてどこかに行こうとしているんだね。 おいしいあざらしっていうことは、あざらしがえさなんだね。 うんうん。海に行くって書いてある。ここは、海ではないんだね。 お母さんもおなかすいてるんじゃないかな？何を食べているんだろう。	☆ <b>多様な考えや感想をもったり、認め合ったりすることができるよう、発表のよさを取り上げて賞賛する。【目的に応じた弾力的な振り返り】</b>
3・4時間目	○ 2の場面の写真を見てシロクマの親子は、どんなことを話しているのかを考える。 今日は、お母さんが出てきたよ。 でも、昨日見た写真より、子供たち大きくなってない？ 早く大きくなるんだよ、ってシロクマの兄弟に話しているのかもしれないね。 そうだね。「お母さん、おなかすいたよ〜」ってお願いしているのかもしれないね。	☆ 時間の経過や場面の移り変わりについて気づくことができるよう、登場人物の変化や会話の違いについて考える場を設ける。
	○ 2の場面を読み、シロクマの親子は、どんなことを話しているのかを考える。 お母さんは、子供たちを連れてどこかに行こうとしているんだね。 おいしいあざらしっていうことは、あざらしがえさなんだね。 うんうん。海に行くって書いてある。ここは、海ではないんだね。 お母さんもおなかすいてるんじゃないかな？何を食べているんだろう。	☆ 考えるための視点として、「写真」「会話文」「シロクマの様子」「まわりの様子」を提示する。
5・6時間目	○ 2の場面を読み、シロクマの親子は、どんなことを話しているのかを考える。 お母さんは、子供たちを連れてどこかに行こうとしているんだね。 おいしいあざらしっていうことは、あざらしがえさなんだね。 うんうん。海に行くって書いてある。ここは、海ではないんだね。 お母さんもおなかすいてるんじゃないかな？何を食べているんだろう。	☆ <b>写真と教材文の関連を捉えながら、内容を読み取ることができるよう、教材文を読み、もう一度写真を見て、考えたことや想像したことを交流する活動を設定する。【必要感のある協同的な学び】</b>
	○ 2の場面を読み、シロクマの親子は、どんなことを話しているのかを考える。 お母さんは、子供たちを連れてどこかに行こうとしているんだね。 おいしいあざらしっていうことは、あざらしがえさなんだね。 うんうん。海に行くって書いてある。ここは、海ではないんだね。 お母さんもおなかすいてるんじゃないかな？何を食べているんだろう。	☆ <b>自己の学びを客観的に振り返ることができるように、友達考えた、シロクマや言葉のよいところを紹介したり、友達から紹介されたりする相互評価の場を意図的に設ける。【目的に応じた弾力的な振り返り】</b> (3, 4時間目は、この支援を繰り返す)
7時間目	○ 2の場面を読み、シロクマの親子は、どんなことを話しているのかを考える。 お母さんは、子供たちを連れてどこかに行こうとしているんだね。 おいしいあざらしっていうことは、あざらしがえさなんだね。 うんうん。海に行くって書いてある。ここは、海ではないんだね。 お母さんもおなかすいてるんじゃないかな？何を食べているんだろう。	



○ 3～7の場面の中から、会話や行動を想像しやす写真を選び、シロクマの親子がどんなことを話しているのかを考える。

4の場面では、お母さんと子供が一人じゃないかな？どうしたのかな？この後ろにいるのかな？

一人こぐまさんが遅れているんじゃないかな。「早くおいで～」って叫んでるんじゃないかな。

5の場面のお母さん、「さっさと行きなさい！」って怒ってると思う。

6の場面、これはお母さんかな？なんだかともうれしそう。「やっとなんかつかってうれしそう。「やっとなんかつかってうれしそう。お母さんが教えてあげるからね。」とも言っていると思う。

○ 同じ写真を選んだ子供同士でグループを作り写真の言葉を考えたり、文章を読んで考えたことを交流したりする。

5の場面の子供たちのセリフを考えようよ。お母さんの後ろに行こうとしているみたいだね。

そうだね。お母さんががんばれ、って応援しているのかな。それとも、怖いよ、っておびえているのかな？

6の場面では、「しっかりえさとりを覚えるんだ。」ってカギ括弧の中に書いてあるよね。まだ話していることあるのかな。

「自分一人で暮らすんだよ。」とかかな。6の場面を書いている他のグループの聞いてこようよ。

○ それぞれの場面毎に考えたことを紹介し合う。

3の場面のお母さんは、耳を澄ましていただけでなく、「がんばらなきゃ！」って気持ちを含められていると思いました。

4の場面は、写真に出ていないもう一人の子供の言葉を考えました。きつと甘えて「まってよ。おなかすいたよ。」って…

5の場面では、お母さんのセリフに、「私の大切な子供たちに愛なことするんじゃない！」って子供を守る言葉を考えました。

7の場面の大きくなった子供たちは、ふざけ合ったりしているだけでなく、強くなるために特訓しているんだと思ってこんなセリフを…

○ まとめ期への見通しをもつ。

写真に言葉を入れることができるようになってきたね。今度は写真展に向けて本を選んだり、写真を選んだりするんだね。

みんなで考えを出し合うと、たくさん考えることができたから、写真展でも、たくさんの方の考えを聞いてがんばりたいなと思いました。

○ 動物写真展で紹介する本や写真を選ぶ。

この図鑑のパンダの親子の写真はね、二人で何かをささやいているみたいでいいなあ。

このライオンのお母さんが、子供たちをなめている写真、とっても優しい顔してるね。子供たちもうれしそう。

虎のお母さんが、足で子供を遊んであげている写真、猫みたいでかわいいね。

うさぎのお母さんは、子供に何かを教えているよ。敵から身を守るためのことかなあ。

○ 写真と文章を対応させながら動物の会話や行動を考え、写真展の写真を3～4枚選ぶ。

お母さん、ごはんまだ？今から用意するからねってパンダのお母さん言っているんじゃない？

早く大きくなるんだよってなめてあげているのかな？それとも汚れたからきれいにしているのかな？

お母さん、あそんであそんで！って。でもお母さん、めんどくさそうでもあるね。

物音がしたら、すぐにこの穴に戻ってくるんだよ。って教えてあげているんじゃないかな。顔が真剣。

○ 動物写真展を開く。

隣のクラスの友達から、よく考えてるねって感想をもらったよ。

教生先生は、ぼくたちのパンダの写真の言葉が、「思いつかなかった。よく考えたねってほめてくれた。

僕たちもほかのグループの写真を見に行こう。たくさん感想をもらっているあのグループは…

確かに、このウサギさんの顔は真剣だ。身を守る時の写真は、どの動物もそうなのかな。

写真展、おもしろかったね。今度は、僕たちが写真をとって、いろんな写真を紹介するのもおもしろいね。幼稚園のお友達にも見せてあげたいな。

◇ 自分の選んだ場面に応じて、想像したシロクマの会話の中から、場面の様子に合うような言葉や会話を想像している。 **評2**

☆ 写真展を開くという目的を強めながら、登場人物の行動や会話を想像することができるよう、挿絵の写真と文章を比べながら読むことを働きかける。

☆ 読み取りが深まるように、選んだ場面毎に、グループをつくり、何をしているのか、どんな言葉を話しているのか、全体で交流したり、グループで考えを出し合ったりする活動を設定する。 **【必要感のある協同的な学び】**

☆ 考えるための視点がずれていくことが考えられるので、その場合は、改めて「写真」「会話文」「シロクマの様子」「まわりの様子」に着目することを促す。

◇ 文章に書かれている大事な言葉に着目し、感じたことや思ったことを話しながらお気に入りの場面を読んでいる。 **評2**

☆ 登場人物の様子や行動について考えることができるよう、ワークシートを活用しながら発表する場を設ける。

☆ 自分の学びを確実に振り返り、次への学びへ向けた意欲を高めることができるように、視点を明確にし、子供の振り返りの例を提示したり、称賛したりする。【目的に応じた弾力的な振り返り】

◇ 文章に書かれている大事な言葉に着目するとともに、写真をしっかり見ながら、写真展に使う、本を選んでいる。 **評2**

☆ 読み取るが深まるよう、選書した本ごとに、文章と写真を対応させながら写真展に展示する写真や、解説の文を考える活動を位置付ける。 **【必要感のある協同的な学び】**

◇ 本を読んで得た知識、そこからもった考えや感想、気に入ったところを進んで伝え合いながら協力して動物写真展を創っている。 **評3**

☆ 教師は、多様な考えや感想をもったり、認め合ったりすることができるよう、作品を紹介したり、よさを取り上げて称賛する。また、互いの活動をコメントし合うことができるようなワークシートを工夫する。 **【目的に応じた弾力的な振り返り】**

☆ これまでの活動に自己有用感もてるよう、見に来てくれた人から、感想を聞く場を設ける。

☆ この学習を生かして今後どのような学習を行っていくか考える場を設ける。(話す・聞く、書くことなどの教科の学習から他教科の学習など、幅をもたせる。)

まとめ期 (8・9・10) 時間目 (一)

6. 《本時案》 (本時 4 / 10)

本時の目標

- 言葉や写真から場面の移り変わりや時間の推移を押さえ、場面の様子について想像をひろげながら読むことができるようにする。

学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
<p>○ 前時の学習を振り返る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>昨日は、子供二人の写真をみながら言葉を考えたよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>今日は、次の写真が出てくるんだね。お母さんが出てくるんじゃないかな。</p> </div> </div> <p>○ 本時の見通しをもち、学習のめあてを把握する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>写真を見ながら、シロクマの親子が話している言葉を考えよう。</p> </div>	<p>◇ 場面の様子や登場人物を押さえながら、思ったことを発表している。<sup>【評3】</sup></p> <p>☆ 本時の場面に対する見通しをもったり比べながら読んだりすることができるよう、1の場面を振り返る場を設ける。<sup>【目的に応じた弾力的な振り返り】</sup></p> <p>☆ 本時の学習のめあてを提示する。</p>
<p>○ 2の場面の写真を見てシロクマの親子は、どんなことを話しているのかを考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>お母さん、子供たちをしっかりと守っているみたいに見えるね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>早く大きくなるんだよ、ってシロクマの兄弟にいつているのかもしれないね。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>子供たちは何を見ているのかな？えさでもあるのかな？シロクマって何を食べるのだったかな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>そうだね。「お母さん、おなかすいたよ〜」ってえさのお魚をおねだりしているのかな？</p> </div> </div> <p>○ 2の場面を読み、シロクマの親子は、何を話しているのか話し合いながらシロクマの言葉を考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>子供たちまだミルクを飲んでたんだ。これからえさを探すためにどこかに行くんだね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>うんうん。海に行くって書いてある。シロクマは海の氷の上にいるのかと思っていたよ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>おいしいあざらしっていうことは、あざらしがえさなんだね。お魚じゃないんだ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>でも、そうしたら、お母さんもおなかすいてるんじゃないかな？何を食べているんだろう。</p> </div> </div> <p>教科書に書いてある言葉をみながら、もっと言葉を増やして考えるのは難しいけどおもしろいね。</p>	<p>◇ 動物写真展を開くために、各場面の様子に着目したり、言葉や写真に着目したりしながら、それらを基に、動物の会話を想像しながら読んでいる。またそれらを伝え合っている。<sup>【評2】</sup></p> <p>☆ 本文と出会う前に写真を提示し、何を話しているのか、どんな言葉を話しているのか、交流する活動を設定し、多様な考えを引き出し、本文と出会ったときに比較することができるようにする。<sup>【必要感のある協同的な学び】</sup></p> <p>☆ 教材文を読み、もう一度写真を見て、考えたことや想像したことを自由ペアで交流する活動を設定し、読み取りを深くすることができるようにする。<sup>【必要感のある協同的な学び】</sup></p> <p>☆ 時間の推移や場面の移り変わりについて気付くことができるよう、登場人物の変化や会話の違いについて考えることを働きかける。</p> <p>☆ 考えるための視点として、「写真」「会話文」「シロクマの様子」「まわりの様子」を提示する。</p>
<p>○ 考えた言葉を、交流したり、いいな、と思ったシロクマの言葉を紹介し合ったりする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>「そろそろ海に行くよ。海に行けばたくさん食べ物があんだよ。」って子供たちに話しかけていると思う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>「お母さん、海って遠いの？すぐにいける？」って何も知らない子供たちは聞いていると思うな。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>子供たちは、「あざらしっておいしいのかな。早く食べたいな。」ってわくわくしていると思う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>○○さんのグループは、子供たちの言葉をたくさん考えていて、すごいなあって思ったよ。</p> </div> </div> <p>○ 本時の学習を振り返り、次の学習への見通しをもつ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>最初に写真を見たときよりも、教科書の文を読んでからの方が、言葉は考えやすいね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>うんうん。写真を見ながら教科書を読んだら、言葉がたくさん浮かんできたね。</p> </div> </div> <p>ほかのグループの考えを聞くと考えやすかったね。写真を文をしっかりと見たり、ほかのグループと話し合いながら、3の場面からも読んでいけばいいね。</p>	<p>☆ 多様な思いをもったり、認め合ったりすることができるよう、発表のよさを取り上げて称賛する。<sup>【目的に応じた弾力的な振り返り】</sup></p> <p>☆ 互いの考えた言葉を交流する場を設け、自他の考え方や感じたことを理解することができるように配慮する。</p> <p>☆ 友達の子供の考えた、シロクマの言葉のよいところを紹介したり、紹介されたりする相互評価の場を意図的に設け、互いの学びを価値づけられるようにする。<sup>【目的に応じた弾力的な振り返り】</sup></p> <p>☆ 子供がめあてに即して振り返り、次時への見通しをもつことができるような言葉かけをする。</p>